

製品名: リン酸化 Smad3 (Ser423/Ser425) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87151**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:48 kDa; Observed MW:52 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Smad3
別名	LDS3; LDS1C; MADH3; JV15-2; HSPC193; HsT17436
遺伝子 ID	4088
SwissProt ID	P84022
免疫原	ヒト Smad3 の Ser423/Ser425 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

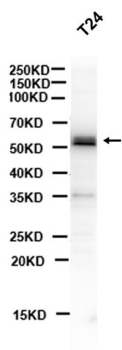
この遺伝子によってコードされるタンパク質は SMAD ファミリーに属し、ショウジョウバエの遺伝子「mothers against」

decapentaplegic] (Mad) および線虫の遺伝子 Sma の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーです。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。このタンパク質は、トランスフォーミング成長因子 β によって活性化される転写調節因子として機能し、発がんの制御に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2009 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Phospho-Smad3 (Ser423/Ser425) ウサギモノクローナル抗体を使用した T24 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。